



「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 最終号 令和6年3月22日

これまでのご支援、本当にありがとうございました！

3月18日（月）、小出病院で令和5年度医療専攻発表会を開催しました。昨年度はZoomによるリモートでの開催となりましたが、今年度は小出病院で実施することができました。生徒たちは、2年間アドバイザーとして多くの学びの機会をくださった小出病院の布施克也院長先生を前に、これまでの感謝とこれからの決意を伝えるべく精一杯発表会に臨みました。

この発表会を開催できたのも、小出病院様をはじめ、これまでご協力いただいた医療講演会講師の先生方や魚沼基幹病院様、北里大学保健衛生専門学院様のおかげであると生徒ともども深く感謝いたしております。

当日のプログラム

- 1 開会挨拶
- 2 アドバイザー紹介
- 3 医療専攻の活動紹介
- 4 グループ別発表
 - ①「難病支援について」
大島 琉亜 今井 月香 小林 楓 吉原 弦生
 - ②「小出病院サマーセミナー（看護師・助産師の体験）について」
上村 ゆら 鎌田 莓花 山本 姫那 茂野 由茉
 - ③「小出病院サマーセミナー（言語聴覚士・理学療法士・臨床検査技師の体験）について」
井上 ゆあ 古川 陽菜 山田 大貴 阿達 洸星
 - ④「チーム医療、地域包括ケアについて」
相澤 慶乃 中澤 夢 野澤 千優
- 5 講評
- 6 生徒代表挨拶

〈発表の様子〉

生徒たちは発表テーマに分かれてグループを作り、昨年の「小出病院サマーセミナー」で体験したことやこれまでの医療講演会で学びとったことを中心にまとめ、発表しました。発表の最後に、「自分が医療従事者になったら・・・」や「・・・できる医療従事者になりたい」とこれからの抱負を述べる生徒もあり、医療職に就きたいという意欲が伺えました。



〔医療専攻プログラムの紹介〕



〔発表の様子〕



〔布施院長先生からの講評〕



〔生徒代表挨拶〕

生徒の感想（医療専攻を通して）

- ・医療専攻では、普通の生活では絶対に体験できないことをたくさんできました。医療職が多くあることは知っていたけれど、やはり中心は医師と看護師ではないかと思っていました。しかし医療専攻を通して、たくさんある医療に関する職のどれが欠けても医療が成り立たなくなることを知って驚きました。
- ・実際に体験をしたり模擬講義を受けたりと色々なことができた1年間でした。1番印象深かったのはサマーセミナーです。看護師のユニフォームを着て診察の様子を見学したり、患者さんとお話しをすることで、数年後自分になりたい姿を想像できる体験でした。この医療専攻で得た知識を将来につなげていきたいです。
- ・なりきり体験や講演会で教えてもらったこと、新しく学んだことをまとめて発表できてよかった。医療専攻を受けなければ分からないこともあったと思うので、実際に医療現場で働いている人から話を聞いて今後の進路に役立てたい。魚沼市で活躍できる看護師になりたいと思った。
- ・1年前に比べ、医療についての知識を身に付けることができましたし、より興味を持つことができました。地域医療、難病、チーム医療についてなど、たくさんを知ることができ、とても勉強になりました。医療系の仕事につきたいという気持ちが強まった気がします。この経験を生かせるよう頑張っていきたいし、将来、医療関係の仕事についてお世話になった方々のようにたくさんの人のために頑張れる人になりたいと思うことができました。